薬剤耐性(AMR)対策に向けたワンヘルスの枠組みの採用

日本

薬剤耐性(AMR)（病原菌が抗菌薬に抵抗する能力）は、20世紀における多くの公衆衛生上の進歩を危険にさらすグローバルヘルスにおける憂慮すべき重大な危機であり続けています。OECDの最新の分析によると、OECD・EU/EEAの34か国において、毎年7.9万人以上の命が奪われ、約290億米ドル(PPP)の費用がかかっていると推定されています。人と動物の健康、農業と食品制度、環境といったAMRの複合的な要因を補足するには、ワンヘルスの枠組みと呼ばれる分野横断的な取組を採用することが重要です。

近年、日本はAMR対策の重要な進歩を遂げた。しかし、更なる取組が必要である。

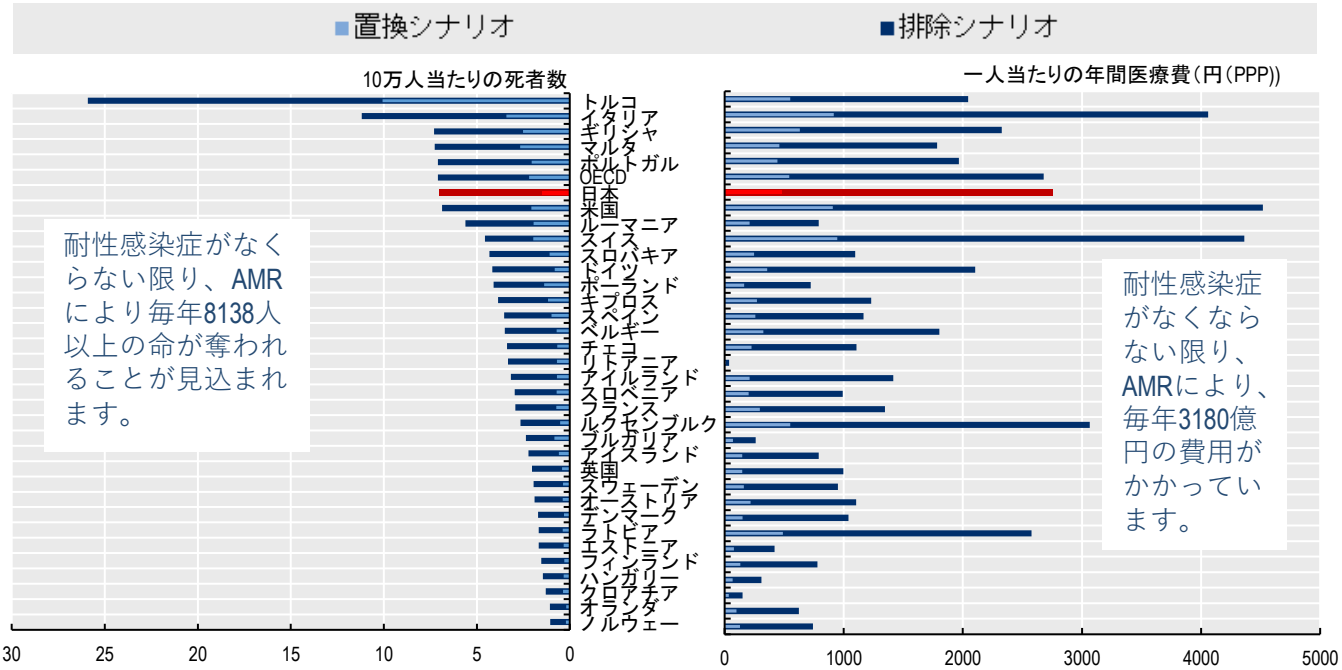
12種類の抗生物質と細菌の組合せにおける耐性割合は、2005年(15.2%)から2019年(14.7%)にかけて次第に減少し、OECD平均(20.8%, 2019年)を下回っている。もし、抑制されなければ、2035年には15.3%となり、OECD平均(20%, 2035年)は下回っているものの、わずかに増加する見通しである。

更なる政策的措置がなければ、 2019年から2035年にかけて、カルバペネム耐性アシネトバクター・バウマニとカルバペネム耐性緑膿菌における耐性割合が、最も早いペースで増加する見込みである（それぞれ4.6%ポイント・2.9%ポイント）。これらの抗生物質と細菌の組合せにおける耐性が増えることで、血流感染症、尿路感染症、肺炎などの疾病の治療法が損なわれる可能性があります。

人に対する抗生物質の総使用量は、2015年に、平均して、1日当たり1000人につき14.5 DDD（一日維持投与量）であり、OECD平均(23.3 DDD)よりを下回っている。もしこの傾向が続けば、抗生物質の総使用量は、2030年までに1日当たり1000人につき17.3 DDDとなり、OECD平均(22.5 DDD)は下回っているものの、増加する見込みである。

アクセス抗生物質（耐性がある可能性のより低い第一選択・第二選択薬）は、2015年に日本で使用された抗生物質の約14%を占めている。これは、60%以上をアクセス抗生物質とするWHOの目標を下回っている。

AMRは、日本における人々の健康や医療費に深刻な脅威を与え続けています：



注: AMRが人々の健康に及ぼす影響は、OECDが2つのシナリオを用いてモデル化しています: 1) 排除シナリオ、2) 置換シナリオ。排除シナリオは、全ての耐性感染症がなくなった場合を想定しており、置換シナリオは、全ての耐性感染症が完全に感性感染症に置き換わった場合を想定している。両シナリオとも、文献上では結論付けるための証拠が不足しているため、あくまでも、ありうるシナリオとして考えられたい。

日本はほとんどの政策領域で良好な成果を出しているが、更なる政策措置の余地がある:

薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン

人に対する抗菌薬使用の最適化

人に対する抗菌薬使用量のモニタリング

人に対する感染予防・管理（IPC）

人の健康におけるAMRについての研修・教育

陸上の畜産におけるバイオセキュリティの実践

食品加工における適正管理・衛生管理

グローバルアクションプランに即した政策を実施し、AMRに対処するため、次の事項に優先的に取り組んでください。

- 国の定めるガイドラインを実施し、抗菌薬の使用状況に関するデータが処方者にフィードバックされる仕組みを整備することで、**人に対する抗菌薬使用を最適化する。**
- a) 製造と衛生におけるベストプラクティスを全国的に推進する計画を実施し、b) 実施状況を定期的に評価することで、**食品加工における適正管理・衛生管理を改善する。**

注: 1- 最も進んでいない; 5 – 最も進んでいる; ひし形はOECDとEU/EEA諸国における最頻値を示している; 各国のスコアは水色で示しています。
出典: 2021-22 Tripartite AMR Self-Assessment Survey

ワンヘルスの取組は分野横断的に政策を組み合わせることの重要性を強調している。OECDは、規模が拡大している分野横断的な5つの優先順位の高い政策など、分野横断的な政策パッケージを含めた異なる政策の影響を調査しました。

- 抗生物質の適正使用の向上
- 医療現場における手指衛生の実践の促進
- 抗菌剤の処方の遅れ
- マスメディアキャンペーンの強化
- 食の安全性の向上

日本では、一人当たり年814円を政策パッケージに投入することで、毎年重要な利益を得ることができる

予防される感染数	救われる人数	削減される医療費（億円）	労働者と生産性の増加による利益（億円）	投入された1円当たりのリターン
111 877	2 926	840	1100	2.11

本稿はOECDが翻訳した。公式の版は英語およびフランス語版のみである。OECD SPheP-AMRに関するデータエクスプローラーとモデルのドキュメントは、こちらのサイトをご覧ください:
http://oecdpublichealthexplorer.org/amr-doc/
OECDレポート「*Embracing a One Health Framework to Fight Antimicrobial Resistance*」は、こちらのサイトをご覧ください: https://oe.cd/amr-onehealth

Co-funded by the European Union